

平成 24 年度 すぎなみ大人塾（昼）コース

平成 25 年 1 月 28 日（月） 10:00～12:00

会場：セッション杉並 於

学習支援者 松田道雄（東北芸術工科大学教授）

学習支援補助者 谷原博子（地域コーディネーター）

学習支援者 松田

おはようございます。いよいよ大人塾の昼コースも大詰めとなってきましたね。後半は、たいてい実りが多くなるものです。人生でも、お金のあらないは別にしても、自由時間がふえます。それをいかに自分たちだけではなく、和を広げて楽しむのが重要だと思っています。大人塾が、きっかけになってもらえたら嬉しいです。では、今日の日直の方、お願いいたします。

日直： 保正さん

ちょうど杉並に引っ越してきて 1 年になります。1 年住んでみた感想をお伝えしようと思います。マンションに住んでいますが、とても変わっているのです。全員の電話番号を知っているのです。配布されているなんて、今時珍しいですよ。引っ越した時にも、回覧版がまわってきて、電話番号を書きました。「詐欺に合わないですか？」と聞いたら、「免疫ができてから大丈夫」と応えられました。マンションなので、ちょっとだけ子供をみて欲しかったり、病気のとくに助けが欲しかったりと身近な誰かに声をかけたい時もあります。そんな時に、電話番号が役に立つのです。実際、「ご意見が聞きたいのだけど」と意見交換から、ラジオ体操が始まりました。

このマンションは、コミュニティにあふれていて、お花見には 60 人近く集まりました。現在ある駐車場もコミュニティの成果です。168 台も止まれる駐車場がありますが、昔は整備されていなかったのが住民同士の喧嘩があったそうです。ところが、1 人の方が図面をひいて、区画を整備し、住民全員が駐車場をもてるようにしたのです。交通の便がいいので、今は 100 台ほどですがキチンと利用されています。

ゴミ置き場も3つあって、とても大きく、いつでもだせるようになっています。古いマンションですので、捨てられるものも年代物が多く、古い木のハンガーがあったり、三菱電機の初代のレンジや漬物の樽が捨てられています。ゴミ箱からも時代を感じられ、文化人も狸もすんでいる楽しい住宅です。おすそわけをしたいと思います。ガーデニングクラブに通っていて、発見した良いモノのご紹介です。土の取り替えが面倒なときに、便利なグッズです。生ゴミにふりかけて、土を再生してくれます。肥料をいれなくてもこんなに元気です。根がしっかりして、とても良いですよ。そして、これは織ったマフラーです。今年は織りにも挑戦しようと思います。ありがとうございました。

学習支援者 松田

みなさんの活動を3月に発表して頂きますが、今日は発表の準備と考えてください。発表は15分となりますので、話す内容や表現方法を決めましょう。昨年度の発表を参考にしてみると、自分たちにあった発表方法がわかると思います。午後は部屋をとっていますので、もし話し合いたい方がいたり、交流をしたい方はお使いください。

では、準備のためにそれぞれグループごとにお話ください。

各グループで準備開始



学習支援者 松田

それでは、発表をお願いしたいと思います。きょうりゅうクラブ、だがしや学校 物語、わづくりの会の順番でお願いします。

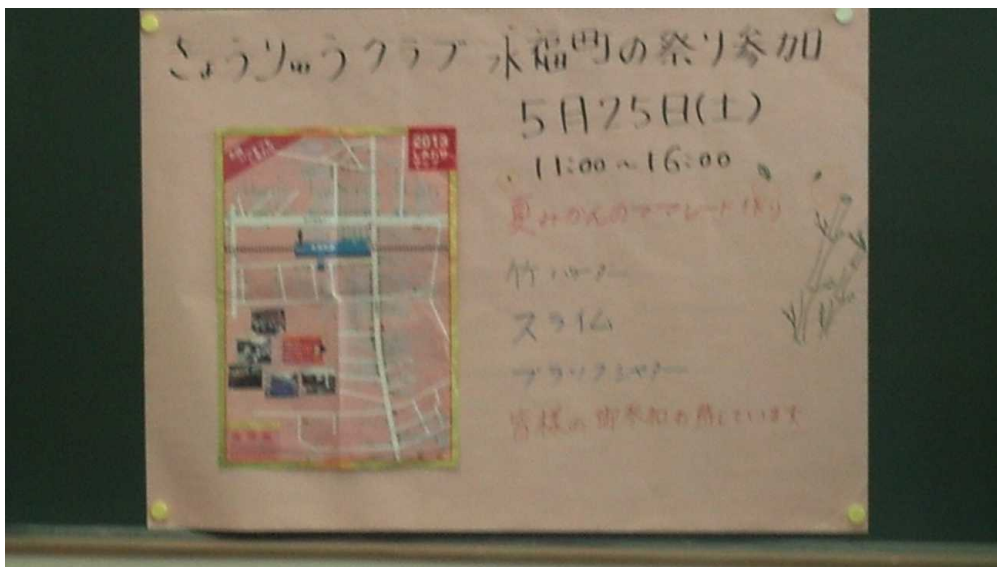
きょうりゅう倶楽部

永福町のお祭りに参加することになりました。1年にお祭りは5回開催されていて、そのうち4回は参加できるようです。南口には、かなりのお店が出店されるそうで、パラソルや机も借りられます。おまつり事業の広報看板は銀行の横に立ててあります。夏みかんのマーマレード作り、竹パウダー、ブラックシアターをやろうと考えています。みなさまの参加をお待ちしています。

夏みかんは、瓶詰めして売ることにしたのですが、保健所の許可も必要なので、実演にします。夏みかんのなっているお家もあるので、そこでマーマレード作りをしようと思います。

竹パウダーの普及や竹の講習会もしたいです。

作ったものの販売、実演、ワークショップなどをできたらとおもいます。みなさまのご来店をおまちしています。



### わづくりの会

楽しかったので、学んだことを歌で披露したいと思います。「僕らはみんな生きている」という歌です。ご存知でしたら、ご唱和ください。

「ぼ~くらは、みんな生きている 生きているから楽しいんだ~ 」



歌の次は、この1年の楽しかったところを順番に発表していきます。

まずは、

わづくりの会「わ」。

へびやリンゴのサンタを作ったり、何かをみんなで作るのが楽しかったです。

わづくりの会「づ」。

バルーン、折り紙、ブローチ。手作りをみんなでやれて、本当に楽しかった。覚えたことを他の人にも教えたと、ひろがり生まれます。一期一会を大切に、この楽しみを他の人にも伝えていきたいと思っています。

わづくりの会「く」。

バルーン作りを覚えられたのは嬉しかったです。これからは、地域での普及のお手伝いをしたいと思います。メンバーのみなさんは、いろんなことを知っていたり、できることがあります。もっともっと教えられるので、ぜひ利用してください。

わづくりの会「り」。

ものづくりで和が作れたのでよかったです。前に進む先輩の姿を追えたのが有難いです。

わづくりの会「の」。

いろいろ学ばせて頂き、本当に有難いです。素晴らしい仲間に出会えたのは宝です。再会を楽しみにしています。ありがとうございます。

わづくりの会「会」。

モノづくりを通して、どれだけの人につながれたのか。私たちが学んだこと、感じたことをもっと多くの人に伝えていきます。たくさんの楽しみはみんなに！



だがしや楽校 物語

私たちのグループでは、本をつくることにしました。猫を主人公にしたニコニコロードの物語です。猫目線から、人間の世界を見ていきます。お店のインタビューは6件ほどです。この本の特徴は、ニコニコロードで使っていたように、マンガとプロフィールの2本立てになっています。メンバー限定、商店街、そして社会福祉協議会に納品をします。今後のつながり、これからの発展になればとおもっています。本だけではなく、私たちのプロフィールを作る



うと思ひまして、皆さまにインタビューをさせて頂いております。ぜひご協力をお願いいたします。



学習支援者 松田

他のグループへの感想をお願いしたいと思います。どなたか代表の方から、ご質問やご意見をお願いします。

きょうりゅうくらぶ代表

みなさんの発表や活動を見ていると、何処からか何でもでてくる、わきあがってくる感じがします。なにもないところから、何かが生まれています。活動から、みんながつながっていくのは良いなと思いました。

だがしや学校代表

わづくりの会は、本番も歌で発表されるのですか？だとしたら、とても素敵ですね。作っていたリンゴなど実際のモノがあるとわかりやすいと思います。

わづくりの会代表

自分のところで、びっくりしたんですが、実は何も決めていませんでした。急遽、歌で発表をしようと決めて、音頭をとってもらい歌を歌った次第です。きょうりゅうクラブ、だがしや学校 物語のチームは、5月までちゃんと準備し

ていて、スゴイなと思いました。大人塾は、いろんなことがわきあがって、一人ひとりが輝いて本当に素晴らしいです。

学習支援者 松田

昼コースで最年少の坂本さんのご意見も聞いてみましょう。

坂本

何から何まで初めてのことで、こうして上の世代の方とお付き合いさせて頂いております。皆さま、得意技や持ち味を活かしていらっしゃると思いました。成果発表会にむけて、着々と進んでいると感じました。

学習支援者 松田

彼は大学生から社会人になったばかり。これからの青年です。誠実でとても丁寧な仕事ぶりで、「熟してる新聞」の内容を見ていると、地域活動のことがわかっているなと感じます。最後に、地域活動のベテランでいらっしゃる東島さんからお言葉を頂戴したいと思います。

東島さん

永福町のお祭りについて情報をお伝えさせてください。永福町には南と北の2つの商店街があります。今回、参加できるのは南の永福町商店街振興組合のイベントです。5回ありますが、夏のナイトバザール(7月27日)夏の夜まつり(8月31日・南北商店街同時開催)の参加が目標となります。秋のオータムフェス(10月27日)の参加も視野に入れてください。

せっかく参加していただくのであれば、商店街の方から感謝されるような関係ができたと思います。永福通りと永福しあわせ通り(線路沿い)がメインとなります。ゲストはしあわせ通りとなります。線路沿いが盛り上がり、お客さんと呼べるとなれば、参加した会の評価もあがることとなります。夜祭りは南北の同時開催のイベントとなります。パラソルは4つもらえ、机は1チームに一つの割合。綿菓子機等もレンタルできます。

パラソル、机等もう少したくさん借りて、お茶を飲めるようなスペースも作れるんじゃないでしょうか。商店街の方の本音は、若い人の手が欲しいのです。でも大人塾の参加者は年齢が高いので、若い人と同じように会場設営や掃除などはできません。これは課題ですね。この課題の解決も見つけていけたら、もっと良い関係になれるでしょう。4月になりましたら、また会合がはじまりますので、中身をお伝えできると思います。一緒に商店街の皆さんと楽しんでいただけたらと思います。

学習支援者 松田

マスゲームやスカイツリーのように見ただけで分かるものもありますが、地域活性の活動は見ただけでは分からないことも多いです。今日の3つの発表でも、みなさんの個性や人生がすごく出ています。ショップやコミュニティ、ものづくり、劇場型発表、ビジネスのような仕組み。なんにもないところから生まれて、形ができ、場となっています。これを練っていくと、面白くなるはずです。会社だと目的がありますので、目的にあうようにブラッシュアップします。しかし、人生の中での活動は人生時間で磨いていきます。まだまだ広がり、どんどん融合してきます。これがだがしや楽校でしょう。先日、福岡県の方からお手紙をもらいました。自宅の2階を改装して、地域に開放していらっしゃるそうです。中学の先生で、退職したら本番になるとのこと。日本全国、こういう熱い活動や想いを持った方が眠っているんです。活動することで、次の世代への提案になります。部屋の中だけではなく、地域に広がっていくのがすごいところですよ。今日もたくさん学ばせていただきまして、ありがとうございます。